

# 新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）について①

2021.12.23  
保) ワクチン接種担当部

## 追加接種の概要

- 対象者 : 2回接種を完了した方のうち、**18歳以上の方**
- 接種時期 : <原則> 2回目接種から**8カ月を経過**した日以降  
<例外> 以下に該当する方は8カ月経過を待たず、前倒しでの接種が可能  
(R3.12.17付厚生労働省健康局健康課予防接種室事務連絡)
  - ★【**2カ月前倒し**】2回目接種から**6カ月後**の接種を可とする方 ※医療機関・施設で接種体制を確保のうえ実施
    - ①医療従事者 ②高齢者施設等入所者及び従事者 ③通所サービス事業所の利用者及び従事者
    - ④病院及び有床診療所の入院患者
 ※①及び重症化リスクの高い②を優先的に実施するものとされており、①について、札幌市ではR4.1月までの完了を目指す。
  - ★【**1カ月前倒し**】2回目接種から**7カ月後**の接種を可とする方 ※R4.2月より実施可  
上記①～④以外の高齢者

## 札幌市における追加接種の実施について

追加接種実施月		R3.12月	R4.1月	R4.2月	R4.3月	R4.4月
対象者	前倒し対象者					
	医療従事者	2.1万人	8.3万人			
	施設従事者		1.5万人	0.7万人	0.2万人	
	施設入所者・通所利用者・入院患者		3.0万人	0.6万人	0.1万人	
	高齢者			28.0万人	13.0万人	2.0万人
	その他		0.1万人	0.2万人	4.0万人	15.4万人
接種券送付	前倒し対象者	・医療従事者、一部の施設従事者へはR4.1月5日に送付 ● ・施設入所者、入院患者へは前倒し送付は行わない ● ・高齢者へはR4.1月下旬以降、2回目接種から7カ月経過前の時期に発送予定				早期接種完了に向け、接種券無しでの接種も可
	その他	・2回目接種から8カ月経過前の時期に発送予定				
医療機関での接種		・各医療機関ごとに準備が整い次第受付を開始 ※札幌市公式ホームページ内「さっぽろコロナウイルスワクチンNAVI」にて、各医療機関の予約受付状況を発信				
集団接種会場での接種		予約開始予定 ●	会場開設予定 ●			

# 新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）について②

2021.12.23  
保) ワクチン接種担当部

## 集団接種会場の設置

### ■追加接種への対応

○追加接種が本格化するR4.2月以降に対応するため、以下の集団接種会場の設置準備を進めている。

- ・各区民センター会場 : R4.2月稼働開始予定
- ・札幌サンプラザ会場 : R4.3月稼働開始予定

○R3.12.17に国から追加接種の一部前倒しが正式に示されたことを受け、R4.1月中の追加接種に対応可能な会場の設置に向け調整中。

- ・コンベンションセンター会場 : 区民センター会場が開設されるまでの間の臨時会場として1月中下旬の開設を予定。
- ・医師会館会場 : 現在、1・2回目接種を実施中。1月下旬以降、追加接種実施に向けて調整中。

※1月中は医療従事者への接種中心、高齢者への接種は2月以降本格化

追加接種実施会場	R3.12月	R4.1月	R4.2月	R4.3月	R4.4月
コンベンションセンター (臨時会場)			→		
各区民センター (10会場)			→	→	→
札幌サンプラザ				→	→
医師会館			→	→	→

○集団接種会場で使用するワクチンは、**国からの供給状況などを踏まえて決定する。**

### ■1・2回目接種への対応

○新たに接種対象年齢（12歳）に到達する方などへの対応が必要なことから、1・2回目接種への対応についてはエルプラザ会場にて継続する。

# 新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）について③

2021.12.23  
保) ワクチン接種担当部

## ワクチン供給の見通し

### ■国の供給予定

○R3.12～R4.3までに全国の接種対象者約4,800万人に対し、ファイザー社製2,600万回・モデルナ社製2,200万回を配分

### ■札幌市への配分見通し

○配分総量 : 現時点では示されていない

○ワクチンの種別 : 現時点では示されていないが、国の配分割合と同程度になるものと想定  
(ファイザー社製2,600 : モデルナ社製2,200 = 54.2% : 45.8%)

## 交互相種の実施について

### ■札幌市におけるR4.3月までの追加接種回数 (R3.12.13VRSベース)

○ファイザー社製 : 539.5千回 (87.3%)

○モデルナ社製 : 78.4千回 (12.7%)

計 : 617.9千回 ※内訳は2回目接種で使用したワクチン

### ■想定される国の配分

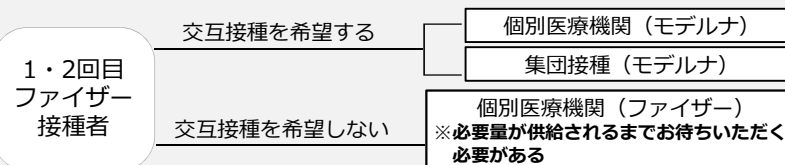
○ファイザー社製 : 334.9千回 (54.2%)

○モデルナ社製 : 283.0千回 (45.8%)

計 : 617.9千回

▲204.6千回分

- 1・2回目接種でファイザー社製ワクチンを使用した方全員分を同種のワクチンで賄うことは困難な見通し
- 早期に接種を受けたい方に向け、**交互相種（1・2回目と異なるワクチンの接種）の実施**が必要
- 身近な医療機関で接種したいというニーズに応えるため、**個別医療機関でもモデルナ社製ワクチンの接種を実施**していただく方向で調整中



### ＜参考：交互相種の効果等について（厚生労働省HP・新型コロナワクチンQ&Aより一部抜粋）＞

Q 初回（1回目・2回目）接種とは異なるワクチンを使用（交互相種）しても大丈夫でしょうか

A 諸外国では、初回接種で使用されたワクチンの種類に関わらず、追加接種でmRNAワクチンを推奨する国が多く、また、初回接種と追加接種で異なるワクチンの使用（交互相種）を認めている国は、米国を始め複数あります。追加接種において、初回接種で使用したワクチンと異なるワクチンを使用すること（交互相種を伴う追加接種）の効果や安全性を評価した米国の研究によれば、交互相種を伴う追加接種の抗体価の上昇は良好であること、また、副反応に関しては、初回接種で報告されたものと同程度であり、交互相種と同種接種で差が無かったと報告されています。

# 第6波に備えた医療提供体制（方向性）

## 第5波までに整備した体制【基盤】

自宅・宿泊療養

自宅療養者に対する電話診療のほか往診、訪問看護などの体制の強化



### 無症状・軽症

酸素投与の必要がない患者

※医師が必要と判断した場合は、入院

重点医療機関等

機能分化（要介護、透析、妊婦・小児等）を進めることで、役割分担を明確化し、医療機関の負担軽減

### 中等症



酸素投与が必要な患者  
(人工呼吸器・ECMO以外)

### 重症



酸素投与が必要な患者  
(人工呼吸器・ECMO)

## 第6波に向けた体制整備【強化】

### 経口治療薬の処方体制の整備

国

薬事承認

【国内で確保予定】

- ・年内に20万回分
- ・さらに年度内に40万回分



札幌市

薬剤師会と連携し、経口薬を扱う「**対応薬局**」について、必要な方に提供できるよう、札幌市内で**100以上の薬局のリスト化**を目指す

外来診療体制の強化

ワクチンの追加接種

## 大晦日における地下鉄の延長運転の中止について

## 1 延長運転の中止の考え方

例年、交通局では初詣の需要増加に対応するため、大晦日の夜に地下鉄の最終電車を概ね2時間30分繰り下げる延長運転を行っていたが、昨年度は新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあったことから、大晦日の延長運転を中止した。

今年度においては、感染状況は減少傾向にあるものの、一方でオミクロン株による感染拡大が懸念されており、引続き感染症対策を徹底する必要があることに加え、北海道神社庁も昨年度と同様に初詣の「分散参拝」を呼び掛けていることから、大晦日の延長運転を中止する。

例年の大晦日	2021年の大晦日
延長運転の時間 12月31日24:01～概ね26:30	延長運転は実施しない 終発 24:00 (2020年と同様)

※例年、延長運転に併せて行っていた地下鉄駅舎の開放延長も実施しない。

## 2 利用者への周知

既に配布されている広報さっぽろ12月号には、延長運転の実施は「未定」と掲載しているため、駅改札口・列車内への掲示物やホームページなどで利用者への周知に努める。

## 【参考】今年度の年末年始における地下鉄の運行ダイヤ

12月29日(水)・30日(木)	12月31日(金)	1月1日(土祝)	1月2日(日)・3日(月)
土日祝ダイヤ	特別ダイヤ		土日祝ダイヤ
日中は約7分間隔	日中は約9分間隔	日中は約10～11分間隔	日中は約7分間隔
始発～6時00分 終発～24時00分	始発～6時00分 終発～24時00分	始発～6時00分 終発～24時00分	始発～6時00分 終発～24時00分

※大晦日の延長運転中止以外はすべて例年どおりの取扱い。